

銘柄米生産情報

会津若松市・磐梯町・猪苗代町

J A会津よつば（あいづ地区）・J A全農福島県本部

福島県農業共済組合会津支所・福島県会津農林事務所農業振興普及部

多様で競争力のある水田農業を構築しましょう！

園芸作物等の高収益作物や、麦類、大豆等の畑作物、飼料用米・加工用米・輸出用米への転換を！

「基本技術の励行」、「適期適作業」で、
良食味の会津米を生産しましょう!!

東北地方1か月予報 <仙台管区气象台 R7.5.8 発表>

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】東北地方	10	20	70
【降水量】東北地方	20	40	40
【日照時間】東北地方	40	30	30

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

天気は数日の周期で変わるでしょう。
平均気温は、高い確率70%です。

田植え時のポイント

- ・低温、強風時には、田植えは行わないようにしましょう。
- ・品種や地域に応じた適正な栽植密度に設定しましょう。
- ・一株当たりの植え付け本数と植え付けの深さに気をつけましょう。

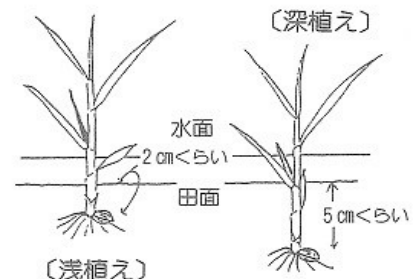
【植え付け本数】… 一株あたり3～4本

本数が多いと過繁茂になり、細い茎になりやすくなります。

【植え付け深さ】… 2～3cm程度

植え付けの深さが浅すぎると浮き苗となり欠株となったり、除草剤の薬害が発生しやすくなります。また、植付けが深いと分げつが少なくなります。

植え付けが深いと、下位の分げつ芽が休眠し、分げつが少なくなります。



田植え直後の水管理

【活着期、分げつ期】

活着期：稲体を保護するため、3～5cmのやや深水管理を行います。

分げつ期：活着後は2～3cmの浅水管理で分げつを促します。



【状況に応じた水管理】

- ◆除草剤処理前は田面にしっかりと水を張り、処理後は7日間水を止め、自然減水で田面が露出しそうなときは、緩やかに入水しましょう。
- ◆極端な低温や強風時は、深水にしてイネを保護しましょう。
- ◆ガスわきが起こった時は、水の入れ替えによりガス抜きをしましょう。

さまざまなリスクに備え収入保険に加入しましょう！
（青色申告を行っている農業者が対象です）

雑草対策

- ◆残った雑草の種類や量に応じて、中・後期剤により追加防除を行いましょう。（表参照）
- ◆雑草イネの発生を確認したら、抜き取り作業を行ってください。（除草剤は初期剤（エリジャン乳剤、ソルネット1キロ粒剤、メテオ1キロ粒剤等）＋初中期一発剤の体系処理を!!）
- ◆風が強い時は、薬剤が風下に流れ均一に広がりにくく、ドリフトや薬害も発生しやすくなります。ある程度、風がおさまってから薬剤を散布しましょう。
- ◆農薬を使用する際は、最新の農薬登録情報を必ず確認し、使用基準を守ってください。また、農薬を使用したら、必ず記帳しましょう。

表 中期除草剤等の例

適用雑草	使用時期	薬剤名	成分数	使用方法
ノビエ	移植後15日～ノビエ4葉期 (但し、収穫45日前まで)	ヒエクリーン1キロ粒剤	1	湛水散布
水田一年生雑草、 ホタルイ等	移植後14日～ノビエ4葉期 (但し、収穫60日前まで)	レプラス1キロ粒剤	4	
	移植後15日～ノビエ5葉期 (但し、収穫50日前まで)	クリンチャーバスME液剤	2	落水散布またはごく浅く湛水して散布
一年生及び 多年生雑草	移植後14日(イネ5葉期以降)～ノビエ4葉期(但し、収穫60日前まで)	ツイゲキ1キロ粒剤	3	湛水散布
	移植後15日～ノビエ6葉期 (但し、収穫50日前まで)	トメバスMF液剤	2	落水散布またはごく浅く湛水して散布
ホタルイ、オモダカ等(イネ科を除く)	移植後15日～収穫45日前まで	バサグラン粒剤 (ナトリウム塩)	1	
クサネム、イボクサ	移植後20日～クサネムの草丈70cmまで、イボクサの茎長60cmまで (但し、収穫45日前まで)	ロイヤント乳剤	1	

病害虫対策（葉いもち、初期害虫等）

【箱処理剤による防除】

例) Dr. オリゼバディート粒剤：50g/箱（緑化期～移植当日）
ルーチンアドスピノ箱粒剤：50g/箱（は種時（覆土前）～移植当日）

- ◆田植え後に余った苗は土中に埋めるなどして、早めに処分しましょう。
水田内の置き苗はいもち病の発生源となります！補植が終わったら速やかに処分しましょう！

～カメムシの被害を減らすために～

斑点米の原因となるカメムシは、主にイネ科雑草の周辺で越冬しています。カメムシ類の発生を減らすために、田植え後、畦畔の草刈りを行いましょう。

春の農作業安全運動展開中(3/1～5/31)！

県内では、例年5月から熱中症の発生がみられています。

熱中症対策を徹底し、安全・安心な農作業を実践しましょう！

- 気温の高い時間帯や、体調がすぐれないときは作業を行わない。
- **作業は複数で行い、お互いの体調変化に気をつける。**
- 一人で作業を行うときは**家族や周囲の人に伝えてから**行う。
- 通気性の良い服装で作業し、帽子は必ずかぶる。
- こまめな休憩を取る（1時間に1回、10分を目安に）
- 1時間に500mlのペットボトル半分以上の水分を少しずつ飲む。